

〒143-0061 東京都大田区石川町1-14-11
グリーンヒルズ大岡山102号

TEL 03-6421-8320 FAX 3728-5071
Eメール jrroukairou@yahoo.co.jp

J R 東 海 労 働 組 合

発行人 淵上 利和
編集人 高山 浩

2015年
3月1日
第358号

JR東海労

http://www.geocities.jp/jrtoukairou/

大幅貸金獲得! 「戦争のできる国」づくりを許すな! 第28回定期中央委員会開催



J R 東 海 労 は 2 月 11 日、名古屋市の「ワークライププラザ」で第28回定期中央委員会を開催し、総勢110名が参加しました。
船出副委員長の開会挨拶で始まり、議長団に山本(新幹線)、熊沢(新幹線関西)両中央委員を選出しました。
来賓として、J R 総連榎本書記長、同松田組織共闘部長、田城郁事務所島山秘書、鉄道ファミリ―石川取締役営業部長、同加藤営業担当部長、榎元関ヶ原町議会議員、J R 東海労OB会宇留生会長が出席されました。
11名の中央委員から、職場・地域における実践

私たちは昨年10月15日、10回目となる最高裁決定を勝ち取りました。この数字は、まさに職場からの闘いの実践を示す



職場からJR春闘を闘おう!

や闘い教訓点など、積極的な発言がされ、2015年JR春闘を中心とし

た活動方針を満場一致で決定しました。高原副委員長との閉会挨拶、淵上委

員長の団結ガンバローで委員会が成功裡に終了しました。

淵上中央執行委員長挨拶

もので、私たちの闘いの正しさを示すものです。今、全ての地本で不当なボーナスカットを許さない闘いとして、第三者機関を活用した闘いを進めています。大阪府労働委員会は、掲示物が協約違反として不当労働行為を認めませんでした。静岡県労働委員会では不当労働行為であると命令しました。まさに会社として、この間進めてきた労組対策の転換が迫られる事態となつてきているのです。極めて大きな闘いの前進であり、極めて大きな成果です。

「イスラム国」に拘束されていた人質の邦人2名が殺害された。断じて許されない行為である。2名のご冥福をお祈り致します。▼この事件により、邦人を救助するためには自衛隊が海外で武力行使するべきだ、という世論になつてきているようだ。殺害事件↓軍隊を派遣して敵をやつつけろ↓派遣できなければ憲法や法律を変えろ、となるだろう。マスコミもこのような論調だ▼ちよつと待て、騙されてはいけない! これでは、戦前中国などに軍事侵攻したのと同様ではないか。世論操作とはこういうものだ▼安倍首相は選挙後、憲法9条「改正」に意欲を示した。一方政府は、昨年12月の時点で邦人2名が「イスラム国」に拘束されていたことを把握していた▼では、改憲のための世論操作にはどういう手段が有効か、と考えるとどうなるのか。改憲の世論づくり↓自衛隊海外派遣の賛同づくり↓邦人が事件に巻き込まれる↓そのためにか刺戟する、というように逆から考えてみる必要があるのではないのか。その刺戟とは、安倍首相の「イスラム国と戦う国への人道的支援と2億ドルの資金援助」発言ではないだろうか▼J R 東海労はテロにも戦争にも反対である。

労働審判は組合員12名が申し立て、本人訴訟は4名が提訴しました。本人訴訟においては、会社としてボーナスカットの事由を説明できない事態までつくり出しています。不当なボーナスカットを許さない闘いを、2015春闘の中にしっかりと据えて、闘っていきたいと思います。

昨年の大会で、田城郁参議院議員の応援を組織一丸となつて取り組むことを確認しました。それは、安倍政権が推し進めている「戦争のできる国」づくりを阻止する闘いでもあるからです。集団的自衛権の解釈改憲を許さず、憲法9条を守り、原発再稼働に反対し、戦争の無い平和な社会を子どもたちに残すために闘っていきます。

安倍政権は、来年の通常国会に憲法改正原案を提出し、参議院選挙後の臨時国会で憲法改正の発議を目指すとしていいます。発議は、環境権創設など同意しやすいテーマで理解を得ていくとしています。次期参議院選挙は、憲法改悪が焦点となりますが、憲法改悪に向けたごまかしの議論を許してはなりません。



議長団の山本(左)・熊澤両中央委員

【1面より】器をの別表現であり、武力でつくられた状況を平和と呼んでいるのです。それは「イスラム国」に殺された後藤さんが伝えなかった、報復の連鎖しか生まれないのです。日本は戦後70年、戦争によって一人も死者を出さずにこれたのは、憲法9条で武力行使を否定してきたからこそです。私たちは、テロにも戦争にも反対の姿勢を鮮明にして、労働組合として、一人の労働者として、闘っていききたいと思います。

た労働運動の否定です。安倍政権の下で進められている「戦争のできる国」づくりと全く無関係ではないと思います。組織拡大実現から一年が経ちます。さらなる闘いをつくり出していくことで、必ず組織拡大を勝ち取ることができると確信しています。私たちは、数的には圧倒的に少数ですが、職場において私たちは決して少数派ではありません。なぜなら、私たちの闘いに正義があるからです。私たちの闘いは、全ての社員の課題であるからこそ、JR東海への共感の輪は、確実に広がっています。

額される定期昇給は一律1500円要求します。格差を生み出し、社員間の競争を生み出す賃金制度の撤回を求めます。併せて、夏季手当と専任社員・出向会社の労働条件改善を要求して闘います。私たちの利益を、会

社に売り渡しているJR東海ユニオン役員の犯罪性を暴露して闘います。私たちJR総連、JR東海への組織破壊攻撃は、ますます厳しくなることは間違いありません。しかし、多くの国民は戦争のない平和を社会

を希求し、憲法9条を堅持し、原発の再稼働に反対しています。そこを基礎に、私たちはJR総連の仲間と、地域の仲間と連帯して、東海の職場から地域から多数派を目指し、奮闘していこうではありませんか。

JR東海労と共に闘う決意語る！ 各々来賓からの連帯挨拶

JR総連榎本書記長



の番人(内閣法制局長)、通貨の番人(日銀総裁)、放送の番人(NHK会長)を変えた。これらは、極めて中立性が求められる番人だ。自分の意向に沿う人事に変えた。そして今、マスコミや春闘までもにも介入した。この一連の動きはファシズムである。

新幹線地本の労働審判に参加させてもらった。加藤共々、今後も参加していきたい。

1年半厳しい闘いになるが、ぜひよろしくお願います。

鉄道ファミリー石川取締役営業部長



宇留生OB会長



相だけと言われている。沖繩の予算も切り詰めた。許されない行為だ。連合の旗開きに、経団連会長、厚労相が出席したが、産業報国会になっていくだろう。ますます戦前同様、あらゆる方向に走っている。これらを許さず、OB会は、田城議員の支援の輪を広げるために最大限奮闘する。

田城郁事務所岡山秘書



で、安倍首相のいい加減さが見えた。相手を切つて捨てる答弁で、本会議が30分も早まった。田城議員は、国土交通委員会理事、予算委員会、東日本大震災復興及び原子力問題の特別委員会、政治倫理審査会、裁判官訴追委員会をかけ持ちで行っている。田城議員は、鉄道の労働組合出身で労働現場を良く知る唯一の国

楠元関ヶ原町議会議員



3期目の町議会選挙に出馬を決意した。議員活動を通じて平和を守りたいことと、JR東海労の課題を前進させたい思いからだ。生涯現役という言葉にこだわりを持って闘い続けていく。

す。しかし、私たちの闘いの主戦場は職場です。リニア建設に向けた効率化は、職場環境や労働条件として、私たちの目の前に必ず現れます。その闘いの積み重ねこそ、リニア建設反対の広がりをつくるのです。JR東海ユニオン組合員が言えないことを私たちが代弁し、先頭で闘うことが今こそ必要です。今春闘は、統一要求・統一闘争として、ベア6000円、経過年数で減

JR総連は第37回定期中央委員会を開催し、ベア6000円・2%以上を決定した。JR春闘は、ベアを求めるだけではなく、この間積み上げてきた組織強化、団結の強化、運動の前進も課題に入

れ、統一要求・統一闘争にこだわる。連合の機関誌によると、日本企業の内部留保金は1997年で80兆円、2012年に284兆円に膨れ上がった。労働者の賃金は、1997〜2012年で34兆円減った。第二次安倍内閣で、法

職場闘争の成果の発言が続出!

11名の中央委員が積極的に発言

◆労働審判を闘った3名は、今回ポーナスカットはなかった。大きな成果である。しかし、成田委員長に不当なポーナスカットがされ、労働審判で24条適用となった。本人訴訟を闘うと思うが、組織全体で支え共に闘う。

◆昨年10月、感電事故が発生した。原因は管理者が誤った作業指示を行い、作業者がその誤った箇所のビスを締める際、ドライバーで電線に触れた。医師は電撃症と診断したにも関わらず、会社は火傷にせよと迫った。管理者はおとがめなし。問題はほとんど訴えていく。

◆出向に出た組合員から職場の愚痴が出されていた。職場の改善を求めて闘おうと、議論をつくり、



団体交渉までつくり上げた。大きな成果だ。

◆裁判闘争を最先頭で闘っている熊澤さん、組織の要である多田さんへの強制出向は組織破壊攻撃であり、反撃の闘いを進めていく。

◆昨年12月、ダイ改のハコ(行路)が提案された。これまで提案されていなかった内容が、この間の闘いで提案された。前進である。各分会で要求をまとめ、申し入れを行った。しかし、折り返し時間は改善されていない。これからの粘り強く訴えていく。

◆労働審判の闘いは、地本として最大限連携しながら闘ってきた。

◆田城応援プロジェクトの闘いを全力をあげて取り組む。特にOBとの連携を強化する。

◆戦後70年を節目とした反戦・平和の闘いで、何かのアクションをお願いしたい。

◆3月末で年休失効する組合員は、東京第一運輸所19名、第二運輸所分会16名、半数以上の数である。会社は年休の抽選方法を変えるという揭示を出した。私たちの闘いで出さざるを得ない状況に追い込んだ。しかし、根本的な解決にはならない。抽選方法変更は、要因不足を隠すためのまやかした。分会は、抗議行動や苦情申告の闘いを展開してきた。

◆本人訴訟を闘いは、分会がプロジェクトをつくる。共に闘ってきている。

◆昨年の知識確認テストの振り返りで、会社は目標設定シートを強要している。

◆来年の春闘の中で行く。

きた。テストでは不合格者が多く出た。自己の時間での学習、「命令と服従」の狙いがある。職集で議論してきた。

◆若い社員は、リニア建設による職場環境の悪化に不満を持っている。2名の関連会社社員が死亡事故に遭っている。安全問題を取り組んでいく。

◆関連会社との団体交渉を実現した。他労組から注目されている。第2回3回を目指す。

◆三労委(揭示板貸与拒否) 証人審問の段取りを手作りで行った。

◆地労委で勝利し、盛大に集会を開催した。前段でプロジェクトメンバーが書いたレポートを読み合わせ議論をつくつてきた。旗開きでは、行政訴訟を全体で闘う意思統一を行った。憲法28条の団結権を基礎に闘う。

◆社員目線に立った職場での仲間づくりをしていく。

◆関連会社への申し入れを今春闘の中で行う。

全ての闘いを田城応援プロジェクトに活かそう!

小林書記長総括答弁



方針提起した4点の課題で、2015JRを闘っていく。ベア6000円は基本給の要求である。官製春闘とかアベノミクスなどと言われている。

る賃上げの中、労働者にとっての賃金とは何かを基本に据えつつ、他労組組合員に訴え、賃金闘争を賃金闘争として闘っていく。

非正規労働者、有期労働者、関連会社社員にも思いを馳せ、連帯をつくり出し、JR東海労の未来を切り拓いていこう。関連企業との団体交渉は労働協約上ではできず、憲法28条により実現できなかった。各地本で実現した団体交渉開催の成果を教訓として、さらに闘っていく。

田城議員 便り



街角に梅花咲き、春の気配が漂う今日この頃です。

さて、安倍政権のアベノミクス3本目の矢である成長戦略の柱の一つに、労働諸法制の改悪があります。昨秋の臨時国会において民主党はじめ野党で廃案に追い込んだ「労働者派遣労働法」改悪法案を再び今国会に上程しようとしています。これらの状況を踏まえ、今、労政審で「労基

今委員会で組休にするかどうかの問題が発生した。今後、本部と出向先会社との協議が必要となってくるだろう。各地本と連携しながら対応していきたい。

3月8日春闘セミナーを開催する。課題は、田城応援プロジェクトをつくり上げていくこと、組織破壊攻撃・弾圧としてかけられてきているポーナスカットを跳ね返すことである。ポーナスカットを跳ね返す闘いは、単なる裁判闘争ではなく、裁判闘争を通じて職場闘争の中に返すことが教訓である。しっかりと教訓を学んでいきたい。皆さんの力をお借りして春闘を闘っていききたい。

法の一部改正法案」の裁量労働制に「企画業務型裁量労働制」の新たな取り組みの法律要綱の議論がされていることに注視していかなくてはならないと考えています。

通常の業務として行っているものと考えられる」との意見もあります。裁量労働制は、実労働時間がどれだけ増えようが、みなし労働時間分の賃金しか支払わない制度です。そのため、サービ

1. 対象業務が現行の「企画、立案、調査及び分析を行う労働者」から大幅に拡大する可能性がある。【例・普通の営業職、事務職等まで】

2. 年収要件が定められていない。【例・同意があれば入社したての新人も対象】

今、「残業代ゼロ制度」については、報道や関係団体で問題視されていますが、対象範囲を広げた「企画業務型裁量労働制」の改悪は殆ど周知されず、私たちの知らないうちに審議がどんどん進められようとしています。

従って、「残業代ゼロ制度」よりも対象範囲が拡大され、過重労働を強いられることが想定されます。対象業務は今後省令で定められることになりませんが、「追加される業務は、多くの労働者が

私たち労働者の「働き方」にかかわる重大な法改正をしっかりと議論し、阻止に向けた闘いをつくり上げていく決意です。

2015JR春闘を職場から構築しよう!

各地本定期委員会成功裡に開催

新幹線地本

第20回定期委員会

新幹線地本は2月22日、荏原第5区民集会所で第20回定期委員会を開催しました。議長に長浜委員(東京車両所分会)を選出しました。



成田委員長は「山本裁判勝利の意義を今一度我がものとし、今後の闘いに活かしていく。不当なボーナスカットを許さない闘いの結果、昨年末で1名まで減らした。攻撃を跳ね返した成果を確認しよう。2015JR春闘は賃金闘争だけでなく、労働条件改善や職場諸要求を掲げて、しっかりと闘いをつくらう」と挨拶しました。

効率化施策などの各職場における諸問題、危機的な政治情勢や将来展望を見据えての意見など、委員全員からの発言を受け

静岡地本

第24回定期委員会

静岡地本は2月24日、静岡労政会館で第24回定期委員会を開催しました。議長に寺田委員(浜松運輸区分会)を選出しました。

山本委員長は「揭示物不当撤去地労委闘争は、プロジェクトを中心とした組織的取り組みで、画期的な勝利を勝ち取った。会社は不服として静岡地裁に提訴したが、私たちは憲法28条・団結権を武器に、弁護士との渡辺先生、長島先生と共に闘っていく。昨年12月、次期ダイ改で初めて行路が提案された。私たちの粘り強い闘いの成果である。さらに要求解決に向け奮闘する。安倍政権の戦争政策、原発再稼働、労働法改悪などを許さず闘おう」と挨拶しました。

来賓として、本部高原副委員長、鍋島地本OB会長から連帯挨拶を受けました。



名古屋線地本

第25回定期委員会

名古屋地本は2月15日、ワークライフプラザ

の成果を確認し行政訴訟で闘う決意、ダイ改行路や職場における問題など、全委員が発言しました。

れあるで第25回定期委員会を開催しました。議長に塚本委員(豊橋運輸区分会)を選出しました。山田委員長は「地本の中心課題であるカット愛労委、三労委(揭示板設置拒否事件)、労働審判の闘いによって、組織強化を勝ち取ってきた。さらに奮闘していこう。安倍政権が進める『戦争の国』づくりを許さず、地域と連帯しながら闘っていこう」と挨拶しました。



ました。杉澤書記長は「アベノミクス官製春闘を打破し、春闘要求獲得のみならず、貧困・格差の解消と平和で安心して暮らせる社会を守るために闘おう」と総括答弁を行いました。



新幹線関西地本

第20回定期委員会

来賓として、本部淵上委員長、地本OB会伊藤副会長、鉄道ファミリア加藤営業担当部長から連帯挨拶を受けました。

新幹線関西地本は2月15日、「大阪市立市民交流センター」ひがしよどがわで第20回定期委員会を開催しました。山下副委員長の司会で始まり、議長に山嶋委員(大阪第一運輸所分会)を選出しました。

小林委員長は挨拶で、「安倍政権による『戦争の国』づくりを許さず、安倍政権の暴走をストップさせるために闘おう。職場での強権的な労務政策を許さず、職場から声を上げていこう。」

2015春闘、ベースアップ、労働条件の改善に向け全力で闘おう」と訴えました。

来賓として、本部木下副委員長、中浜高槻市会議員、新聞うずみ火・矢野代表、地本OB会中崎会長から連帯挨拶を受けました。

質疑では、労働委員会の闘い、ボーナスカット本人訴訟の闘い、行政訴訟・最高裁判所の闘い、井戸掘削問題における車両所4分会合同集会の開催、CMC関連会社との団体交渉、平和な社会を目指す市民・団体・労働者との連帯の闘い、職場諸要求についてなど12名の委員が発言しました。

畑野書記長は「ベースアップは全員一律要求で闘う。今起きている問題を直視し、担当・関係箇所と連携を取って議論を進めていく」と総括答弁を行い、委員会は成功裡に終了しました。

職場の問題が出され、改善に向けて闘う決意がされました。荻野書記長は「組合揭示板を全職場で設置させる闘いを、今春闘の中で構築しよう」と総括答弁を行い、委員会は成功裡に終了しました。